

## 宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 3 月 2 日(水) ~ 平成 23 年 3 月 8 日(火))

平成 23 年 3 月 9 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する国内の動向

- 準天頂衛星初号機「みちびき」搭載機器(時刻管理系)の一部従系への切り替えについて  
準天頂衛星初号機「みちびき」において3月4日(金)9時頃(日本時間)、(独)情報通信研究機構(NICT)が開発している時刻管理システムの衛星搭載機器である主系 LNC (Low Noise Converter; 低雑音周波数変換器)が OFF になっていることが判明し、LNC を ON にするコマンドを送ったが ON にならなかったため、計画に従い 10 時 56 分頃、LNC を従系に切り換えるコマンドを送信したところ、正常動作が確認されたと NICT が同日に発表した。この時刻管理系の一部搭載機器 OFF の事象は、測位を含めすべてのミッションには全く影響はなく、現在、主系が OFF になった原因を調査中。
- 第3回(平成 22 年度)宇宙科学奨励賞の表彰式の開催について  
3月8日(火)、(財)宇宙科学振興会による第3回(平成 22 年度)宇宙科学奨励賞の表彰式が開催された。宇宙科学奨励賞は、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰するために平成 20 年度から創設されたも

のであり、今回の受賞者は、名古屋大学理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 GCOE 研究員の石原大助氏。石原氏は、赤外線天文衛星「あかり」ミッションにおいて、観測用のカメラ(IRC)の機器開発で中心的役割を果たすとともに、「あかり」打上げ後は運用にも参加して、データ解析等を主導し、特に、極めて信頼性の高いデータ整理を実行したことが受賞の理由となった。

- JAXA 産業連携シンポジウム 2011 の開催について  
3月8日(火)、JAXA 主催の「JAXA 産業連携シンポジウム 2011」が開催された。宇宙産業の海外展開のガギやハードル、国や JAXA の役割を探ることを開催趣旨として、宇宙産業の海外事業展開についての講演やパネルディスカッションが行われた。590 名の一般来場者があった。
- トルコの通信衛星の受注について  
3月8日(火)、三菱電機(株)は、トルコの国営衛星通信会社「Turksat Satellite Communication, Cable TV and Operation AS」から、2 機の通信衛星、「Turksat-4A」及び「Turksat-4B」を受注したと発表した。2008 年に三菱電機(株)が JAXA プロジェクトを通じて開発した標準衛星バス「DS2000」を用いて受注したシンガポール/台湾の通信衛星「ST-2」に続く、海外商用衛星となる。今回の成果は、海外展開に向けた政府全体の強力な方針のもと、政府をあげたトップ外交を実行するなど、官民の連携した取組みが実を結んだものと考えられる。

### 宇宙開発に関する海外の動向

- NASA、地球観測衛星「Glory」の打上げに失敗 【米】

3月4日(金)10時9分(世界標準時、以下同じ)、NASAは、バンデンバーグ空軍基地より、トーラスXLロケットによる地球観測衛星「Glory」の打上げを行ったが、フェアリングが正常に分離せず軌道投入に失敗した。NASAの発表によれば、ロケット及び搭載された衛星は、南太平洋に落下した模様。

- アトラスロケットによる宇宙輸送機試験機の打上げに成功 【米】  
3月5日(土)22時46分、米国ユナイテッド・ロンチ・アライアンス(ULA)社はケープカナベラル空軍ステーションより、アトラス5ロケットを打上げ、米空軍の無人再使用型宇宙輸送機のオービタル試験機2号機「X-37B Orbital Test Vehicle 2(OTV-2)」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は約4,990 kg。